

平成 24 年度

やまぐち森林づくりレポート

＝やまぐち森林づくり県民税関連事業実績報告＝



平成 25 年（2013 年）12 月

山 口 県

はじめに

緑豊かな森林は、きれいな水や空気を育み、県土を災害から守り、ふるさと山口の美しい景観を創り出すなど、県民生活に欠くことのできない多面的な機能を持っています。

また、近年では、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収源としての機能など地球規模での環境保全に果たす役割にも大きな期待が寄せられています。

このかけがえのない森林は、これまで、林業生産活動など農山村の人々の営みの中で適切に管理されてきましたが、農山村の過疎化や高齢化、担い手の減少、木材価格の長期低迷など森林・林業を取り巻く社会環境が厳しさを増す中で、手入れが行き届かず荒廃した森林が増加し、森林の持つ多面的機能が十分に発揮されず、県民生活に支障をきたすことが強く懸念されています。

このため、山口県は、平成 16 年 3 月に、県民の皆様との協働の下に、本県の豊かな森林を次世代に引き継ぐことを目指した「やまぐち森林づくりビジョン」をお示しし、また、荒廃森林の再生などを支える財源として、平成 17 年 4 月に「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。この県民税関連事業の実施に当たっては、県民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。

このため、「やまぐち森林づくり県民税」に関する年次報告として、毎年度、「やまぐち森林づくりレポート」を作成し、税の導入目的や県民税により実施している事業の内容、実績、効果などについて公表しています。

ぜひ、ご一読いただき、本県の豊かな森林づくりへの取り組みに、さらなるご理解をいただきますとともに、今後の事業の実施に当たって反映するため、皆様からのご意見をお寄せいただきますようお願いを申し上げます。

<お問い合わせ先>

山口県農林水産部森林企画課林業企画班

(電話番号) 083-933-3464 (FAX 番号) 083-933-3479

(電子メール) a17700@pref.yamaguchi.lg.jp

目 次

1	森林の果たしている役割	………… p. 1
2	やまぐち森林づくり県民税の導入の経緯	………… p. 2
3	やまぐち森林づくり県民税の概要	………… p. 4
4	平成 24 年度やまぐち森林づくり県民税関連事業の実績及び税収実績	………… p. 5
5	平成 24 年度剰余金等の取り扱い	………… p. 7
6	平成 24 年度県民税関連事業実施実績	………… p. 8
7	事業の効果	………… p. 24
8	全国の動向	………… p. 27
 ◆ 資料編		
1	平成 24 年度県民税関連事業実績	………… p. 28
2	平成 24 年度までの 3 年間の県民税関連事業実績	………… p. 35
3	事業の効果	………… p. 44
4	独自課税を活用した主な事業の内容（都道府県別）	………… p. 48

1 森林の果たしている役割

森林は、木材の生産のほかに、水源のかん養、県土の保全、地球温暖化の防止、快適な生活環境の保全などの多面的な機能を有しており、安全で快適な県民の暮らしを守っています。

○水源のかん養

森林内では、落葉・落枝などの堆積物や土壌生物が多く棲む表土がスポンジのような役割を果たし、大量の雨水はゆっくりと河川に流されて洪水を防ぎ、渇水時には貯蔵された水が少しずつ流れ出て渇水を緩和します。

○県土の保全

森林は、樹木の根を張り巡らせ、土壌をしつかりと固定し、土壌の崩壊を防止するとともに、落葉や下草などによって地表が覆われているため、降雨等による土壌の浸食や流出を抑えています。



豊かな水を育む森林

○地球温暖化の防止

森林は、その成長の過程で光合成により、地球温暖化の主要な原因となっている二酸化炭素を吸収・固定しています。そして、二酸化炭素が固定された木材を利用することは、長期間にわたり、二酸化炭素の大気への放出を抑制することになります。

○快適な生活環境の保全

森林は、美しい景観の形成や憩いの場を提供するとともに、強風や騒音等から私たちを守る働きがあり、快適な生活環境の保全に貢献しています。

○生物多様性の保全

森林は、野生動植物に生息・生育する場を提供し、生態系や生物種、遺伝子の保全など、生物の多様性を保全する働きを持っています。

2 やまぐち森林づくり県民税の導入の経緯

(1) 山口県の森林・林業の現状と課題

山口県の森林面積は約 438 千ヘクタールで、県土面積 611 千ヘクタールの 72 ペンセントを占めています。また、この森林の 84 ペンセントは個人や企業等が所有している私有林で、私有林と市町有林等を合わせた民有林の面積は約 426 千ヘクタールと、本県の森林の 97 ペンセントを占めています。

この民有林の 44 ペンセントは、スギ、ヒノキを中心とした人工林で、その面積は約 188 千ヘクタールです。その多くは、第二次世界大戦時の大規模な伐採で荒廃した山を復興するために植栽されたものです。

近年、農山村の過疎化や高齢化、担い手の減少、また木材価格の長期低迷など林業を取り巻く経営環境の厳しさが増す中で、人工林を中心に荒廃した森林が増加し、水源のかん養や県土の保全など県民生活と密接に関わる森林の多面的な機能の発揮が懸念される状況となっています。この多面的機能の回復を図るため、荒廃した森林の緊急的な整備等を着実に進めるとともに、森林の果たす役割やその整備の重要性などについて県民理解を促進する取り組みなど、本県独自の新たな森林づくりを積極的に進めていくことが重要な課題となっています。



長期間放置された森林（下草が枯れ、表土が流出し、樹木の根が露出している。）

(2) 「やまぐち森林づくりビジョン」の策定

荒廃が深刻化する森林の現状や県民の森林に対する多様化、高度化するニーズを踏まえ、健全で豊かな森林を県民との協働により育み、次世代に引き継ぐための指針として、「やまぐち森林づくりビジョン」を策定し、平成 16 年 3 月に公表しました。

このビジョンでは、百年先の豊かな森林の創造に向け、人と森林の関わり方を考慮して、本県の民有林を「自然を守る森林」、「水と緑を育む森林」、「循環利用される森林」、「生活環境を支える森林」の 4 つに区分し、多様な森林づくりを進める方向をお示ししています。



やまぐち森林づくりビジョン
(平成 16 年 3 月策定)

また、このビジョンを着実に推進していくために、森林・林業施策の重点化とともに、新たな財源の必要性について提起しています。

(3) 新たな財源の検討

ビジョンの方向性を踏まえて、平成16年4月に、学識経験者や県民各界各層の委員で構成される「やまぐち森林づくり財源検討委員会」を設置し、財源に関する検討を行いました。この検討の結果として、森林の多面的な機能の恩恵を受けている県民の皆様に幅広く負担していただくことが適当であるとの意見が示され、平成16年12月に報告書がまとめられて、県に提出されました。



藤井会長から報告書を提出
(平成16年12月24日)

(4) やまぐち森林づくり県民税の導入

財源検討委員会の報告を踏まえ、山口県は「やまぐち森林づくり県民税(案)」を公表しました。テレビやラジオ、県のホームページなど各種広報媒体を活用した広報活動、県内10箇所での県民説明会、森林シンポジウムの開催などによる周知を行うとともに、パブリックコメントやシンポジウムの実施時のアンケート調査など幅広い意見の聴取に努め、県議会での審議を経て、平成17年4月から平成21年度までの5年間を実施期間として「やまぐち森林づくり県民税」を導入することが決まりました。



やまぐち森林づくりシンポジウムの開催
(平成21年11月29日)

また、実施期間が満了する平成21年度には、県民税関連事業評価を公表し、広く県民の皆様の意見を頂くために、延べ16箇所における県民意見交換会やパブリックコメント、森林づくりシンポジウムを開催するとともに、やまぐち森林づくり推進協議会のご意見をお伺いしながら見直しを行い、平成22年度から26年度までの5年間継続することが決定しました。

3 やまぐち森林づくり県民税の概要

やまぐち森林づくり県民税は、現行の県民税均等割の税率に一定額を上乗せする方式をとっています。

対象者	<p>【個人】 県内にお住まいの方等 【法人】 県内に事務所、事業所を持っている法人等</p>																		
税 額 (上乗せ額)	<p>【個人】 年額:500 円 【法人】 年額:1,000 円～40,000 円 (現行法人の県民税均等割の税率の5割相当額)</p> <table border="1" data-bbox="435 600 1347 882"> <thead> <tr> <th>資本金等の金額</th> <th>現行均等割の税率</th> <th>5割相当額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50 億円超</td> <td>年額 800,000 円</td> <td>40,000 円</td> </tr> <tr> <td>10 億円超～50 億円以下</td> <td>年額 540,000 円</td> <td>27,000 円</td> </tr> <tr> <td>1 億円超～10 億円以下</td> <td>年額 130,000 円</td> <td>6,500 円</td> </tr> <tr> <td>1 千万円超～1 億円以下</td> <td>年額 50,000 円</td> <td>2,500 円</td> </tr> <tr> <td>1 千万円以下</td> <td>年額 20,000 円</td> <td>1,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	資本金等の金額	現行均等割の税率	5割相当額	50 億円超	年額 800,000 円	40,000 円	10 億円超～50 億円以下	年額 540,000 円	27,000 円	1 億円超～10 億円以下	年額 130,000 円	6,500 円	1 千万円超～1 億円以下	年額 50,000 円	2,500 円	1 千万円以下	年額 20,000 円	1,000 円
資本金等の金額	現行均等割の税率	5割相当額																	
50 億円超	年額 800,000 円	40,000 円																	
10 億円超～50 億円以下	年額 540,000 円	27,000 円																	
1 億円超～10 億円以下	年額 130,000 円	6,500 円																	
1 千万円超～1 億円以下	年額 50,000 円	2,500 円																	
1 千万円以下	年額 20,000 円	1,000 円																	
納税方法	<p>県民税均等割に上乗せして納めていただきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(個人)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>給与所得者 (納税義務者)</p> <p>↓ 給与から天引き</p> <p>雇用主 (特別徴収義務者)</p> <p>↓ 納入</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>個人事業者等 (納税義務者)</p> <p>↓ 納税 (納税通知書)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(法人)</p> <p>法人 (納税義務者)</p> <p>↓ 申告納付</p> </div> </div> <p>市町 ← 払込み → 県</p> </div> <table border="1" data-bbox="403 1458 1406 1787"> <tbody> <tr> <td>給与所得者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用主が給与から税を天引きします。 ・雇用主はとりまとめた税を市町に納入します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 </td> </tr> <tr> <td>個人事業者等</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・市町から送付される納税通知書によって納税します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 </td> </tr> <tr> <td>法人</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・県民税の申告納付の際に、均等割額に上乗せして納めます。 </td> </tr> </tbody> </table> </div>	給与所得者	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用主が給与から税を天引きします。 ・雇用主はとりまとめた税を市町に納入します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 	個人事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・市町から送付される納税通知書によって納税します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 	法人	<ul style="list-style-type: none"> ・県民税の申告納付の際に、均等割額に上乗せして納めます。 												
給与所得者	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用主が給与から税を天引きします。 ・雇用主はとりまとめた税を市町に納入します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 																		
個人事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・市町から送付される納税通知書によって納税します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 																		
法人	<ul style="list-style-type: none"> ・県民税の申告納付の際に、均等割額に上乗せして納めます。 																		
使 途	<ul style="list-style-type: none"> ・健全で多様な森林づくりの推進 (ハード事業) ・県民との協働による森林づくりの推進 (ソフト事業) 																		
実施期間	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 17 年度～平成 26 年度 																		

4 平成 24 年度やまぐち森林づくり県民税関連事業の実績及び税収実績

(1) 事業実績総括表

平成 24 年度については、やまぐち森林づくり県民税の税収額を 4 億 1 百万円と見込み、平成 21 年度剰余金 (314 千円) を加えた約 4 億 131 万円を事業費として、公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業などの県民税関連事業を実施しました。

各種事業の実績は次表のとおりです。また、事業費については、事業実施の際の端数調整の結果として 977, 321 円の剰余となりました。

(事業費の単位 ; 円)

区 分	平成 24 年度事業		5 年間 (H22~H26) の整備目標	
	予算	決算見込(注)		
健全で多様な森林づくりの推進 (ハード事業)				
公益森林整備事業	整備面積	350 ㊦ _{タール}	358.32 ㊦ _{タール}	2,000 ㊦ _{タール}
	事業費	177,444,000	177,223,022	
竹繁茂防止緊急対策事業	整備面積	150 ㊦ _{タール}	166.69 ㊦ _{タール}	600 ㊦ _{タール}
	再生竹除去面積	349 ㊦ _{タール}	353.19 ㊦ _{タール}	
	事業費	203,370,000	203,089,415	
魚つき保安林等海岸林整備事業	整備面積	1 ㊦ _{タール}	1 ㊦ _{タール}	5 ㊦ _{タール}
	事業費	2,500,000	2,499,100	
豊かな森林づくり推進事業	事業費	13,000,000	12,570,142	—
県民との協働による森林づくりの推進 (ソフト事業)				
森林づくり活動支援事業	団体数	10 団体	10 団体	—
	事業費	5,000,000	4,955,000	
県民との協働による百年の森づくり推進事業	事業費	—	—	—
事業費計		401,314,000	400,336,679	(剰余金) 977,321

(注) 11 月県議会で承認されて正式な決算額となるため、現時点では決算見込額となります。

(2) 平成 24 年度までの 3 年間の事業実績

平成 24 年度までの 3 年間の公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業など各種事業の実績は、次表のとおりです。

(事業費の単位 ; 千円)

区分		平成 22 年度 平成 23 年度	平成 24 年度	3 年間の 事業実績	5 年間の 整備目標
健全で多様な森林づくりの推進 (ハード事業)					
公益森林整備事業	整備面積	787.04 ^{ヘクタール}	358.32 ^{ヘクタール}	1,145.36 ^{ヘクタール}	2,000 ^{ヘクタール}
	事業費	395,045	177,223	572,268	
竹繁茂防止緊急 対策事業	整備面積	333.75 ^{ヘクタール}	166.69 ^{ヘクタール}	500.44 ^{ヘクタール}	600 ^{ヘクタール}
	再生竹除去	374.08 ^{ヘクタール}	353.19 ^{ヘクタール}	727.27 ^{ヘクタール}	
	事業費	351,084	203,089	554,173	
魚つき保安林等 海岸林整備事業	整備面積	2 ^{ヘクタール}	1 ^{ヘクタール}	3 ^{ヘクタール}	5 ^{ヘクタール}
	事業費	4,979	2,499	7,478	
豊かな森林づくり 推進事業	事業費	29,534	12,570	42,104	—
県民との協働による森林づくりの推進 (ソフト事業)					
森林づくり活動 支援事業	団体数	29 団体	10 団体	39 団体	—
	事業費	12,702	4,955	17,657	
県民との協働に よる百年の森づ くり推進事業	事業費	9,652	—	9,652	—
事業費計		802,995	400,336	1,203,331	

(注) 四捨五入により内訳と合計が一致しない場合があります。

(3) 税収実績等

平成 24 年度の税収実績は 405,971,213 円で、当初予算額を 4,971,213 円上回りました。また、平成 21 年度剰余金を加えた事業費充当額も当初見込額を 4,971,401 円上回りました。

(単位 ; 円)

区 分	予算額 (①)	決算見込額 (②) (注 1)	増減 (②—①)
(1) 税収額	401,000,000	405,971,213	4,971,213
(2) 平成 21 年度剰余金 (注 2)	314,000	314,188	188
(3)=(1)+(2) 事業費充当額	401,314,000	406,285,401	4,971,401

(注 1) 11 月県議会で承認されて正式な決算額となるため、現時点では決算見込額となります。

(注 2) 平成 21 年度剰余金 314,188 円を充当しました。

(4) 剰余金について

平成 24 年度は、税収増加分に事業実施の端数調整等で生じた金額を加えた 5,948,722 円の剰余金が生じました。

区 分	金 額 (円)	摘 要
(1) 税収増加額	4,971,401	
(2) 事業費剰余金	977,321	
(1)+(2) 剰余金	5,948,722	

5 平成 24 年度剰余金等の取り扱い

前述のとおり、平成 24 年度の森林づくり県民税の税収決算見込額は 406,285,401 円で、当初予算 (401,314,000 円) と比較して 4,971,401 円多い結果となりました。これに平成 24 年度事業費の剰余金である 977,321 円を加算した 5,948,722 円が剰余金となっています。

この剰余金については、平成 26 年度当初予算に加算することとしています。

6 平成 24 年度県民税関連事業実施実績

(1) 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）

公益森林整備事業、竹繁茂防止緊急対策事業など荒廃森林の再生のために実施するハード 4 事業については、いずれも当初計画を達成しました。

① 公益森林整備事業

荒廃したスギやヒノキの人工林を対象に本数率で 40 以上を伐採し、針葉樹・広葉樹の混じり合った混交林へ誘導する本事業については、17 市町 483 箇所を実施し、当初計画を上回る 358.32 の整備を行いました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	350.0 ㍍	358.32 ㍍	102 ㍍	
事業費	177,444,000 円	177,223,022 円		

(注) 事業実績の詳細は資料編 P. 28 を参照。

実施例

【概要】

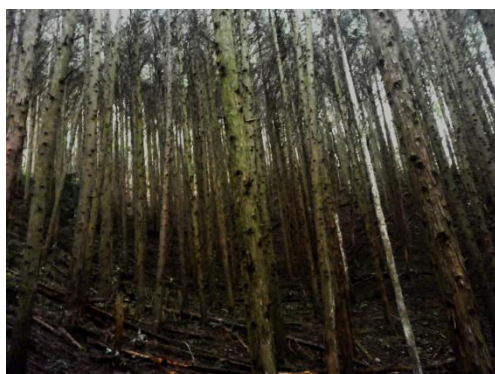
(位置図)

場所	岩国市錦町大野大島
面積	0.46 ㍍
施行内容	ヒノキ 41 年生の強度間伐、林内の整理



(施行前)

(施行後)



② 竹繁茂防止緊急対策事業

水源地や公共施設、住宅地の周辺などにおける繁茂竹林を対象に、繁茂した竹の全伐と再生竹の除去を行い、自然林への回復を誘導する本事業については、14市町68箇所を実施し、当初計画を上回る166.69㍍の整備を行いました。

また、平成22年度及び平成23年度に竹の全伐を行った箇所(17市町152箇所；353.19㍍)について再生竹の除去を行いました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	150.0㍍	166.69㍍	111パーセント	
再生竹除去	349.0㍍	353.19㍍	101パーセント	
事業費	203,370,000円	203,089,415円		

(注) 事業実績の詳細は資料編P.29～P.30を参照。

実施例1

【概要】

(位置図)

場所	美祢市美東町大田 字向ヒ山
面積	2.00㍍
施行内容	繁茂した竹の伐採、 林内の整理



(施行前)

(施行後)



(施行前)



(1年後に発生した竹)



(施行後)



【概要】

場所	柳井市神代宗時
面積	2.00 ㊦
施行内容	再生竹の除去 林内の整理

(位置図)



③ 魚つき保安林等海岸林整備事業

松くい虫や台風などの被害により荒廃した海岸林について、1市1箇所を実施し、当初計画の1割の整備を行いました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	1.00 ㊦	1.00 ㊦	100 ㊤	
事業費	2,500,000 円	2,499,100 円		

(注) 事業実績の詳細は資料編 P.31 を参照。

実施例

【概要】

場所	下関市白崎
面積	1.00 ㊦
施行内容	抵抗性クロマツ植栽 枯損木除去等

(位置図)



(施行前)



(施行後)



④ 豊かな森林づくり推進事業

i) 公益森林整備事業地・竹繁茂防止緊急対策事業地のフォローアップ事業

植生の回復が遅い事業地を対象に広葉樹を植栽し、早期に針広混交林化、広葉樹林化を促進する本事業については、9市10箇所を実施し、当初計画の2.50ヘクタールの整備を行いました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	2.50ヘクタール	2.50ヘクタール	100パーセント	公益森林整備事業地 5箇所1.1ヘクタール 竹繁茂防止緊急対策事業地 5箇所1.4ヘクタール
事業費	—	3,880,800円		

(注) 事業実績の詳細は資料編P.31を参照。

ii) 地域特性を考慮した本県の独自課題へ対応するモデル事業

○耕作放棄地における竹繁茂対策

耕作放棄地に侵入した竹の全伐により、被害拡大を防止し、自然回復が期待できる森林に誘導するため、4市町4箇所を実施しました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	2.0ヘクタール	2.12ヘクタール	106パーセント	・侵入した竹の全伐
事業費		3,600,450円		

(注) 事業実績の詳細は資料編P.32を参照。

○海岸地域における緑化対策

風害、潮害などを受けやすい海岸地域で、潮風害に強い低木性から中高木性広葉樹を混植するなど、防風・防潮機能の高い森林の早期緑化を図るため、1町1箇所を実施しました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	1.0ヘクタール	1.0ヘクタール	100パーセント	・トベラ、マサキ、ハマビワ等、潮風害に強い樹種の植栽
事業費	—	756,000円		

(注) 事業実績の詳細は資料編P.32を参照。

○荒廃したアカマツ林の再生対策

荒廃したアカマツ林において、シダ類の除去等による天然更新の促進と、無立木地への抵抗性アカマツや痩せ地・乾燥に強い広葉樹を植栽するなど、現地適合樹種による早期緑化を図るため、1市1箇所を実施しました。

また、平成22年度及び23年度に整備を実施した箇所(1市2箇所;4.00 ㌆)について、下刈り、つる切りを行いました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	2.0 ㌆	2.0 ㌆	100 ㇀	・抵抗性アカマツ等の植栽
保育	4.0 ㌆	4.0 ㌆	100 ㇀	・H22, 23 事業地の下刈り、つる切り
事業費	—	3,932,250 円		

(注) 事業実績の詳細は資料編 P. 32 を参照。

実施例 1

竹繁茂防止緊急対策事業地
フォローアップ事業

【概要】

(位置図)

場所	美祢市秋芳町別府 字郷ノ原
面積	0.10 ㌆
施行内容	竹繁茂防止緊急対策事業地における 広葉樹植栽等



施工前



◆ 草本類が繁茂し植生の回復が遅れている事業地

施工後



◆ 草本類を除去し、影響を受けにくい大苗の広葉樹を植栽

耕作放棄地における竹繁茂対策

【概要】

(位置図)

場所	田布施町麻郷奥奈迫
面積	0.30 ㌶
施行内容	耕作放棄地に侵入した竹の伐採、林内の整理



(施行前)

(施行後)



◆耕作放棄地（畑跡地）に竹が繁茂している状況

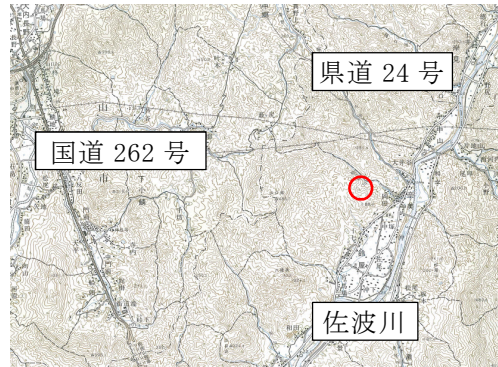
◆全伐後の状況

荒廃したアカマツ林の再生対策

【概要】

(位置図)

場所	防府市大字鈴屋
面積	2.00 ㊦
施行内容	抵抗性アカマツと 広葉樹の植栽



(施行前)

(施行後)



◆ 松くい虫被害を受けたアカマツ林

◆ 地拵えと植栽状況

(2) 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

税制度の導入目的や内容などについて県民への一層の周知を図るとともに、具体的な税の使途について理解促進を図るため、各種の周知活動に取り組みました。

① 森林づくり活動支援事業

県民の森林づくり活動への参画を促進し、森林づくりへの理解をさらに高めるため、ボランティア団体等が地域のニーズに応じて取り組む自主的な森林づくり活動などの提案を公募し、審査の結果、10団体について森林づくり活動の支援を行いました。

支援内容は、チェーンソーや刈払機、鋸、鉋など森林整備活動を行うための資機材や植樹活動を行うための苗木等の資材の購入、地域住民や都市住民に森林づくりへの参加を促す交流会等の活動に対する支援です。

区 分	計 画	実 績	達成率	摘 要
支援団体	10 団体	10 団体	100 ٪	
事業費	5,000,000 円	4,955,000 円		

(注) 事業実績の詳細は資料編 P. 33 を参照。

区 分	団体名	活動内容
岩国市	やまぐちログ匠の会	森林整備、竹林整備
周防大島町	特定非営利活動法人 周防大島 ふるさとづくり のん太の会	竹林整備
田布施町	多賀の森の会	竹林整備
周南市	長田町自治会 竹林ボランティア隊	森林整備、竹林整備、 歩道整備
防府市	佐波川流域森づくりの会	森林整備
宇部市	胡麻稲里山づくりの会	森林整備、竹林整備
宇部市	東岐波里海再生の会	海岸林整備

美祢市	特定非営利活動法人 やまぐち里山ネットワーク	森林整備、竹林整備
長門市	竹林ボランティア俵山	竹林整備
萩市	大井浦共有会	海岸林整備

実施例

【やまぐちログ匠の会】
(岩国市)



◆整備後に発生した間伐材を利用した木工作業

【周防大島ふるさとづくりのん
太の会】(周防大島町)



◆伐採した竹を粉砕する作業

【多賀の森の会】
(田布施町)



◆会員による伐竹作業

【長田町自治会竹林ボランティア隊】
(周南市)



◆竹の支柱を利用した植樹作業

【佐波川流域森づくりの会】
(防府市)



◆都市住民との協働による地拵え作業

【胡麻稲里山づくりの会】
(宇部市)



◆伐採した竹を粉碎する作業

【東岐波里海再生の会】
(宇部市)



◆地元住民（小学生）との交流による植樹作業

【やまぐち里山ネットワーク】
(美祢市)



◆会員による間伐作業

【竹林ボランティア俵山】
(長門市)



◆都市住民（大学生）との交流による伐竹作業

【大井浦共有会】
(萩市)



◆地元住民との交流による植樹作業

② 周知活動

県民への一層の周知を図るため、公益森林整備事業地や竹繁茂防止緊急対策事業地を活用したイベントの開催など各種活動を実施し、制度の導入目的や内容などの周知を行いました。

また、第 63 回全国植樹祭関連イベント「きららの森フェスタ」においては、森のパビリオン内で2日間の周知活動を行いました。

なお、平成 24 年 6 月に行われた「県政世論調査」の結果では、森林づくり県民税の周知率は 24.8 ٪となっています（調査対象；県内に在住する 20 歳以上の男女 3,000 人；有効回収数；1,692 人、回収率；56.4 ٪）。

実施例 1

○パネル等を活用した広報活動



【きらら物産交流フェア】



【農・畜・林試験研究ウォッチング】

○第 63 回全国植樹祭関連イベント「きららの森フェスタ」



【開会式（オープニングイベント）】



【森のパビリオン】

地域行事への参加による周知活動



【阿武川流域森林たくさん祭り
(萩市)】



【むらまち交流フェア(山陽小野
田市)】

県民税関連事業地を活用した周知活動



【美祢市で開催したタケノコ採り】



【下関市で開催したタケノコ採り】

(注) 周知活動の概要は資料編 P. 34 を参照。

③ やまぐち森林づくり推進協議会の開催

県民税関連事業については、県民の皆様のご意見を反映させるため、有識者や公募委員など11名により構成される「やまぐち森林づくり推進協議会」を設置し、その意見等をお聴きしながら事業を実施しています。

委員の任期は2年で、平成24年度においては事業の進捗に合わせて、計3回の協議会を開催しました。

(協議会における意見と事業等への反映例)

- ① 荒廃した竹林の整備を進めるため、さらなる竹の利活用を考えるべきではないか。
→ 竹材・タケノコ生産に向けた竹林整備を市町からの提案でモデル的に実施する。
- ② 整備された竹繁茂防止緊急対策事業地を見て、できる限り多くの人に理解して頂くことが大切である。
→ 県下各地の竹繁茂防止緊急対策事業地事業実施地において、タケノコ採りイベントを実施し、事業の目的、効果について周知活動を実施。
- ③ 広報誌だけでは周知しにくいので、各市町のイベントや祭りなどでPRをしてはどうか。
→ 各農林事務所において、地域で開催されるイベント等に積極的に参加し、周知啓発活動を行うなど各地域単位で実施。

実施例1

(やまぐち森林づくり推進協議会の開催状況)



【協議会の状況】



【協議会の状況】

(注) 協議会の概要は資料編 P.34 を参照。

④ モデル林等の活用

公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業の内容や効果を県民の皆様にも周知し、理解していただくために、平成18年度までに公益森林整備事業、竹繁茂防止緊急対策事業のそれぞれについて県内16箇所（平成17年度；各8箇所、平成18年度；各8箇所）にモデル林の設置を行っています。

また、モデル林や事業実施箇所を活用したタケノコ採りや、現地で発生した間伐材や竹材を利用した工作教室など、県民が参加できる各種行事を行い、1年間に延べ2,640名の参加を得ました。

実施例1

モデル林の設置状況（現況）



【公益森林整備事業のモデル林】



【竹繁茂防止緊急対策事業のモデル林】

事業地で発生した間伐材や竹材を利用した取り組み



【間伐材、竹材を利用した工作教室】



【間伐材を利用した木工教室】

（注）モデル林の設置箇所は資料編P.42～P.43を参照。

⑤ 報道発表など

各種事業の実施時期などに合わせたプレスリリース（計 30 回）を行い、パブリシティを通じた周知にも努めました。新聞報道は延べ 20 回です。

やまぐち森林づくり県民税事業地でのタケノコ掘り体験の様子を伝える新聞報道
（平成 24 年 4 月 22 日）



やまぐち森林づくり県民税の
周知活動を伝える新聞報道
（平成 24 年 5 月 27 日）

7 事業の効果

やまぐち森林づくり県民税は、森林整備を目的とする税として、平成16年3月に公表した「やまぐち森林づくりビジョン」に掲げる「県民との協働による健全で豊かな森林づくり」を具体化するため、幅広い議論を経て、平成17年4月から導入された制度です。

また、税の導入に当たっては、全ての県民がその恵沢を享受している水源のかん養、県土の保全、生活環境の保全、その他の森林の有する多面にわたる機能が持続的に発揮されることの重要性に鑑み、森林の整備に関する費用に充てることとされています。

このような制度の導入経緯を踏まえ、事業効果については、①森林の持つ多面的な機能の持続的な発揮の観点からの評価や、②県民の皆様の理解や参加の促進の状況を公表し、「やまぐち森林づくり推進協議会」や県議会をはじめとした幅広い意見をお聴きしながら、今後の取り組みに反映して、県民の皆様の幅広い理解と参加の下、森林づくりビジョンの目指す本県の健全で豊かな森林づくりを進めることとしています。

(1) 森林の持つ多面的な機能の回復

① 定点観測の実施

森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるためには、荒廃した森林が「公益森林整備事業」や「竹繁茂防止緊急対策事業」によって着実に再生することが必要条件であるため、これらの事業地から調査地を選定し、平成18年度から森林環境の変化を追跡調査し事業効果の検証を行っています。

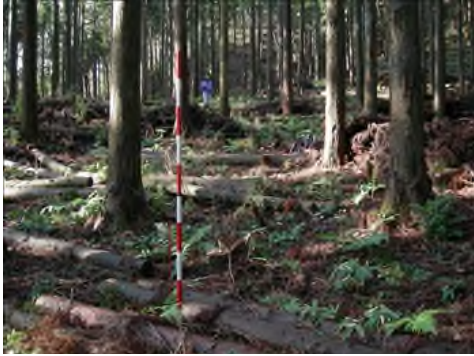
i) 公益森林整備事業

森林の特性に合わせて、平成17年度事業地から8箇所、19年度事業地から8箇所を選定し、詳細な調査を実施するとともに、平成20年度に実施した人工降雨調査箇所9箇所を加え、25箇所の定点ポイントを設けて森林の再生状況などについて調査を実施しています。

ii) 竹繁茂防止緊急対策事業

流域毎に3箇所、県下で12箇所の事業地に定点ポイントを設けて、再生竹の発生や竹林の枯損、森林の再生状況などについて調査を実施しています。

公益森林整備事業地の定点観測（平成 17 年度事業地）
萩市大字片俣



【事業実施 1 年後の状況】



【事業実施 7 年後の植生の回復状況】

竹繁茂防止緊急対策事業地の定点観測（平成 17 年度事業地）
岩国市大字行波



【事業実施 1 年後の状況】



【事業実施 7 年後の植生の回復状況】

（注）調査内容等の詳細は資料編 P. 44～P. 46 を参照。

(2) 県民参加の下に行う豊かな森林づくり

健全で豊かな森林づくりは全県的かつ長期的な取り組みが不可欠であり、このためには県民の皆様への理解と参加が重要です。

このため、県民税導入 8 年目である平成 24 年度においては、税制度の導入目的や内容などについて県民の皆様への一層の周知を図るとともに、具体的な税の使途について理解促進を図るため、県内各地での周知イベントの実施など各種の周知活動に取り組みました。

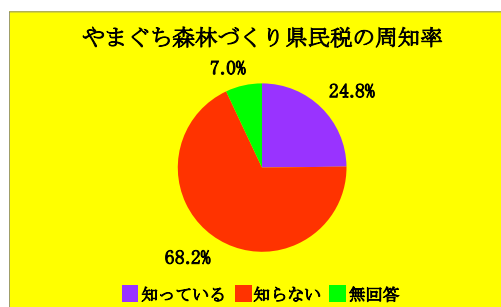
平成 24 年 6 月に行われた「県政世論調査」の結果では、森林づくり県民税の周知率は 24.8 ٪であり、県民の約 4 人に 1 人の割合で周知が図られていることが推測されます。

今後とも、「県政世論調査」を継続して実施し、定期的な周知度の把握に努めるとともに、周知活動に反映することとしています。

実施例 1

1 調査概要

- (1) 調査地域…山口県全域
- (2) 調査対象…県内に在住する 20 歳以上の男女 3,000 人
- (3) 調査時期…平成 24 年 6 月 7 日～6 月 25 日
- (4) 回収数…有効回収数(率)
1,692 人(56.4 ٪)



2 「知っている」と回答した人の内訳

- (1) 男女別…男性；29.9 ٪、女性；20.7 ٪
- (2) 年代別…20 代；10.3 ٪、30 代；14.9 ٪、40 代；19.3 ٪、50 代；24.0 ٪、60 代；32.1 ٪、70 歳以上；37.0 ٪
- (3) 職業別…農林漁業；38.9 ٪、商工サービス・自由業；35.3 ٪、管理職；33.2 ٪、事務職・専門技術職；22.6 ٪、技能職・労務職；16.5 ٪、主婦・主夫；24.1 ٪、学生；20.9 ٪、無職；27.5 ٪
- (4) 広域生活圏
…岩国地域；17.4 ٪、柳井地域；18.2 ٪、周南地域；21.8 ٪、山口・防府地域；31.8 ٪、宇部・小野田地域；26.8 ٪、下関地域；22.2 ٪、長門地域；27.1 ٪、萩地域；29.1 ٪

(注) 調査内容等の詳細は資料編 P. 47 を参照。

(3) 経済波及効果等

平成 24 年度森林づくり県民税関連事業の実施による経済波及や雇用の効果の推計は次表のとおりで、森林づくりを担う中山間地域の活性化に寄与しています。

区分	効果	摘要
経済波及効果	6.4 億円	山口県産業連関表により試算
雇用効果	延べ 19,700 人	

引き続き、このような経済波及効果等の発揮とともに、モデル林や事業実施箇所を活用したイベントの開催などにより、交流人口の拡大にも取り組むことで、中山間地域の活性化への寄与も期待されます。

8 全国の動向

森林環境の保全などを目的とした独自の税の導入は、平成 15 年度に高知県が導入して以降、平成 16 年度に岡山県が、平成 17 年度には山口県を含む 6 県が導入しています。その後、全国的に取り組みが広がっており、平成 24 年度には山梨県と岐阜県が新たに導入した結果、現在、全国で 33 県が導入しています。

これらの独自課税を活用した事業の内容をみると、全国的な課題である間伐を推進する事業をはじめ、針広混交林等への誘導を図る事業、県民参加の森林づくり活動を支援する事業など、それぞれの地域が抱える課題に対応して、森林整備等を推進するための事業を展開しています。

(注) 税導入県の主な事業の内容は資料編 P. 48～P. 50 を参照。

資 料 編

1 平成 24 年度県民税関連事業実績

(1) 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）

① 公益森林整備事業

区 分	箇所数	面積 (㌔)	事業費 (円)	摘 要	
岩国	岩国市	146	110.08	55,594,820	
	和木町	1	1.18	617,140	
	小計	147	111.26	56,211,960	
柳井	柳井市	8	2.23	1,103,850	
	周防大島町	1	0.29	143,550	
	上関町	—	—	—	
	平生町	—	—	—	
	小計	9	2.52	1,247,400	
周南	周南市	72	66.57	34,039,590	
	下松市	1	0.24	124,560	
	光市	7	4.17	2,043,300	
	田布施町	5	2.85	1,410,750	
	小計	85	73.83	37,618,200	
山口 防府	山口市	62	41.64	19,691,130	
	防府市	2	2.00	956,000	
	小計	64	43.64	20,647,130	
宇部 小野田	宇部市	2	0.74	360,380	
	山陽小野田市	1	0.98	477,260	
	美祢市	56	45.93	22,341,690	
	小計	59	47.65	23,179,330	
下関	下関市	35	21.08	10,518,920	
	小計	35	21.08	10,518,920	
長門	長門市	10	12.60	6,287,400	
	小計	10	12.60	6,287,400	
萩	萩市	48	35.03	16,359,010	
	阿武町	26	10.71	5,001,570	
	小計	74	45.74	21,360,580	
事務費 (注)				152,102	
計		483	358.32	177,223,022	

(注) 事務費の内訳；旅費 (32,102 円)、需用費 (60,000 円)、役務費 (60,000 円)。

② 竹繁茂防止緊急対策事業（竹の全伐）

区分	箇所数	面積 (ha)	事業費 (円)	摘要	
岩国	岩国市	6	12.00	9,786,000	
	和木町	—	—	—	
	小計	6	12.00	9,786,000	
柳井	柳井市	3	6.20	6,489,000	
	周防大島町	—	—	—	
	上関町	—	—	—	
	平生町	—	—	—	
	小計	3	6.20	6,489,000	
周南	周南市	8	22.95	27,680,310	
	下松市	—	—	—	
	光市	2	8.77	6,389,250	
	田布施町	3	4.60	3,339,000	
	小計	13	36.32	37,408,560	
山口 防府	山口市	5	10.98	11,043,000	
	防府市	1	2.37	1,203,000	
	小計	6	13.35	12,246,000	
宇部 小野田	宇部市	3	6.60	5,071,500	
	山陽小野田市	2	3.60	2,909,550	
	美祢市	15	16.40	15,368,850	
	小計	20	26.60	23,349,900	
下関	下関市	6	20.00	15,708,000	
	小計	6	20.00	15,708,000	
長門	長門市	6	24.31	16,537,500	
	小計	6	24.31	16,537,500	
萩	萩市	7	27.00	21,181,650	
	阿武町	1	0.91	1,911,000	
	小計	8	27.91	23,092,650	
調査費等（注）				10,784,480	
計		68	166.69	155,402,090	

（注）調査費等の内訳；旅費（7,830円）、需用費（108,000円）、役務費（129,000円）、委託料（10,539,650円）。

③ 竹繁茂防止緊急対策事業（再生竹の除去）

区分	箇所数	面積 (ha)	事業費 (円)	摘要
岩国	岩国市	16	32.09	3,680,250
	和木町	—	—	—
	小計	16	32.09	3,680,250
柳井	柳井市	5	11.20	1,155,000
	周防大島町	2	1.42	300,407
	上関町	—	—	—
	平生町	1	4.50	554,597
	小計	8	17.12	2,010,004
周南	周南市	18	46.29	7,362,600
	下松市	2	6.20	1,199,100
	光市	6	17.90	2,859,150
	田布施町	1	4.20	360,896
	小計	27	74.59	11,781,746
山口 防府	山口市	10	28.64	3,497,550
	防府市	2	6.76	1,610,700
	小計	12	35.40	5,108,250
宇部 小野田	宇部市	12	15.70	2,023,350
	山陽小野田市	4	5.20	598,500
	美祢市	28	42.82	5,396,475
	小計	44	63.72	8,018,325
下関	下関市	14	45.23	5,313,000
	小計	14	45.23	5,313,000
長門	長門市	12	34.24	3,769,500
	小計	12	34.24	3,769,500
萩	萩市	16	42.33	6,294,750
	阿武町	3	8.47	1,711,500
	小計	19	50.80	8,006,250
計	152	353.19	47,687,325	

(注) 平成 22 年度竹繁茂防止緊急対策事業 (164.18ha)、平成 22 年度モデル事業 (2.15ha)、平成 23 年度竹繁茂防止緊急対策事業 (169.57ha)、平成 23 年度モデル事業 (2.00ha)、平成 23 年度緊急雇用対策事業 (15.29ha)

④ 魚つき保安林等海岸林整備事業

区 分		所在地	面積 (ヘクタール)	事業費 (円)	事業内容
下関	下関市	白崎	1.00	2,499,100	・ 抵抗性きららマツ植栽 ・ 作業歩道整備：397m
計				2,499,100	

⑤ 豊かな森林づくり推進事業

i) 公益森林整備事業地・竹繁茂防止緊急対策事業地のフォローアップ事業

区 分		所在地	面積 (ヘクタール)	事業費 (円)	摘 要
岩国	岩国市	美和町	0.1	94,500	公益
	小計		0.1	94,500	
柳井	柳井市	柳井	0.1	514,500	竹繁茂
	小計		0.1	514,500	
周南	下松市	下谷	0.2	100,642	公益
	周南市	大河内	0.3	833,858	竹繁茂
	小計		0.5	934,500	
宇部 小野田	山陽小野田市	厚狭	0.2	315,000	公益
	美祢市	秋芳町	0.1	126,000	竹繁茂
	小計		0.3	441,000	
下関	下関市	菊川町	0.3	651,000	公益
	小計		0.3	651,000	
長門	長門市	俵山	0.8	834,750	竹繁茂
	小計		0.8	834,750	
萩	萩市	弥富上	0.3	286,936	公益
	萩市	高佐下	0.1	123,614	竹繁茂
	小計		0.4	410,550	
計			1.1	1,448,078	公益
			1.4	2,432,722	竹繁茂

ii) 地域特性を考慮した本県の独自課題へ対応するモデル事業

○耕作放棄地における竹繁茂対策

区 分		所在地	面積 (ヘクタール)	事業費 (円)	事業内容
周南	田布施町	麻郷奥	0.30	291,900	侵入竹の全伐
山口 防府	山口市	阿知須	0.60	1,276,800	
宇部 小野田	美祢市	美東町	0.60	736,050	
下関	下関市	菊川町	0.62	1,295,700	
計			2.12	3,600,450	

○海岸地域における緑化対策

区 分		所在地	面積 (ヘクタール)	事業費 (円)	事業内容
萩	阿武町	奈古	1.00	756,000	地拵え、広葉樹植栽
計			1.00	756,000	

○荒廃したアカマツ林の再生対策

区 分		所在地	面積 (ヘクタール)	事業費 (円)	事業内容
山口 防府	防府市	鈴屋	2.00	3,727,500	地拵え、抵抗性アカマツ等植栽
		三谷・鈴屋	4.00	204,750	平成 22・23 年度事業地の下刈り、つる切り
計			6.00	3,932,250	

豊かな森林づくり推進事業事務費 400,642 円

(注) 事務費の内訳；旅費 (164,642 円)、需用費 (114,000 円)、役務費 (72,000 円)、使用料及び賃借料 (50,000 円)。

(2) 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

① 森林づくり活動支援事業

区 分		団体名	面積 (ヘクタール)	補助金 (円)	事業内容
岩国	岩国市	やまぐちログ匠の会	2.00	500,000	森林整備 竹林整備
柳井	周防大島町	特定非営利活動法人 周防大島ふるさとづくりのん太の会	0.20	500,000	竹林整備
	田布施町	多賀の森の会	0.13	500,000	森林整備 竹林整備
周南	周南市	長田町自治会 竹林ボランティア隊	0.50	500,000	森林整備 竹林整備
山口防府	防府市	佐波川流域森づくりの会	0.54	500,000	森林整備
宇部小野田	宇部市	胡麻稲里山づくりの会	0.50	500,000	森林整備 竹林整備
	宇部市	東岐波里海再生の会	0.15	455,000	海岸林整備
	美祢市	特定非営利活動法人 やまぐち里山ネットワーク	1.35	500,000	森林整備 竹林整備
長門	長門市	竹林ボランティア俵山	0.20	500,000	竹林整備
萩	萩市	大井浦共有会	1.00	500,000	海岸林整備
計		(10 団体)	6.57	4,955,000	

② 周知活動

区 分	数 量	対象者等
各種イベントの開催		
きららの森フェスタ	1回	一般県民
地域行事	75回（参加も含む）	一般県民
モデル林等の活用	11回（タケノコ採り）	一般県民
広報ツール		
ケーブルテレビ	5回	萩市民
パネル展示	30か所	一般県民
森林づくりレポート		一般県民
出前講座	14回	一般県民

③ やまぐち森林づくり推進協議会の開催

i) やまぐち森林づくり推進協議会委員

区 分	氏 名	所属・職名
会長	学識経験者	藤井大司郎 山口大学経済学部教授
委員	経済団体	田中 一郎 山口県経営者協会専務理事
		今村 武久 山口県商工会連合会副会長
	消費者団体	中山 光江 山口県消費者団体連絡協議会幹事
		山本 和子 山口県地域消費者団体連絡協議会顧問
	公募委員	吉村 利道 (下関市)
		西嶋 紀子 (萩市)
	森林・林業関係者	木村 誠 山口県林業研究グループ連絡協議会会長
		藤井キクエ 山口県農山漁村女性連携会議会長
		園田 秀則 NPO 法人やまぐち里山ネットワーク理事長
	市町関係者	野村 和司 山口市経済産業部長

ii) 開催状況

開催日	開催場所	開催内容
平成24年7月25日(水)	県庁共用第5会議室	平成24年度事業の実施計画の協議
平成24年11月8日(木)	県庁共用第5会議室	平成23年度事業の実績報告の協議
平成25年3月21日(木)	県庁共用第5会議室	平成25年度事業計画等の協議

2 平成24年度までの3年間の県民税関連事業実績

(1) 公益森林整備事業実績

(単位：箇所、千円)

区 分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	計	
岩国	岩国市	箇所数	(103)	(132)	(146)	(381)
		事業量	104.23	103.98	110.08	318.29
	和木町	箇所数	(2)	(2)	(1)	(5)
		事業量	1.48	1.12	1.18	3.78
	小計	箇所数	(105)	(134)	(147)	(386)
		事業量	105.71	105.10	111.26	322.07
柳井	柳井市	箇所数	(4)	(11)	(8)	(23)
		事業量	2.56	3.60	2.23	8.39
	周防大島町	箇所数	(6)	(2)	(1)	(9)
		事業量	1.66	1.15	0.29	3.10
	上関町	箇所数	(-)	(-)	(-)	(-)
		事業量	-	-	-	-
	平生町	箇所数	(1)	(-)	(-)	(1)
		事業量	0.33	-	-	0.33
	小計	箇所数	(11)	(13)	(9)	(33)
		事業量	4.55	4.75	2.52	11.82
周南	周南市	箇所数	(65)	(70)	(72)	(207)
		事業量	68.46	50.33	66.57	185.36
	下松市	箇所数	(12)	(34)	(1)	(47)
		事業量	7.54	20.77	0.24	28.55
	光市	箇所数	(10)	(8)	(7)	(25)
		事業量	4.25	4.26	4.17	12.68
	田布施町	箇所数	(2)	(2)	(5)	(9)
		事業量	1.27	0.65	2.85	4.77
	小計	箇所数	(89)	(114)	(85)	(288)
		事業量	81.52	76.01	73.83	231.36

(単位：箇所、千円)

区 分			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	計
山口 防府	山口市	箇所数	(38)	(47)	(62)	(147)
		事業量	52.94	47.47	41.64	142.05
	防府市	箇所数	(－)	(3)	(2)	(5)
		事業量	－	2.59	2.00	4.59
	小計	箇所数	(38)	(50)	(64)	(152)
		事業量	52.94	50.06	43.64	146.64
宇部 小野田	宇部市	箇所数	(7)	(10)	(2)	(19)
		事業量	3.92	6.51	0.74	11.17
	山陽 小野田市	箇所数	(1)	(－)	(1)	(2)
		事業量	1.03	－	0.98	2.01
	美祢市	箇所数	(73)	(49)	(56)	(178)
		事業量	51.28	47.92	45.93	145.13
	小計	箇所数	(81)	(59)	(59)	(199)
		事業量	56.23	54.43	47.65	158.31
下関	下関市	箇所数	(32)	(33)	(35)	(100)
		事業量	27.35	25.77	21.08	74.20
	小計	箇所数	(32)	(33)	(35)	(100)
		事業量	27.35	25.77	21.08	74.20
長門	長門市	箇所数	(10)	(7)	(10)	(27)
		事業量	15.13	14.60	12.60	42.33
	小計	箇所数	(10)	(7)	(10)	(27)
		事業量	15.13	14.60	12.60	42.33
萩	萩市	箇所数	(42)	(56)	(48)	(146)
		事業量	51.22	43.66	35.03	129.91
	阿武町	箇所数	(19)	(21)	(26)	(66)
		事業量	5.78	12.23	10.71	28.72
	小計	箇所数	(61)	(77)	(74)	(212)
		事業量	57.00	55.89	45.74	158.63
計	箇所数	(427)	(487)	(483)	(1,397)	
	事業量	400.43	386.61	358.32	1,145.36	

(2) 竹繁茂防止緊急対策事業実績

① 竹の全伐

(単位：箇所、 m^2)

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	計	
岩国	岩国市	箇所数	(7)	(6)	(6)	(19)
		事業量	13.60	16.30	12.00	41.90
	和木町	箇所数	(-)	(-)	(-)	(-)
		事業量	-	-	-	-
	小計	箇所数	(7)	(6)	(6)	(19)
		事業量	13.60	16.30	12.00	41.90
柳井	柳井市	箇所数	(2)	(3)	(3)	(8)
		事業量	5.00	6.20	6.20	17.40
	周防大島町	箇所数	(1)	(-)	(-)	(1)
		事業量	1.00	-	-	1.00
	上関町	箇所数	(-)	(-)	(-)	(-)
		事業量	-	-	-	-
	平生町	箇所数	(1)	(-)	(-)	(1)
		事業量	4.50	-	-	4.50
	小計	箇所数	(4)	(3)	(3)	(10)
		事業量	10.50	6.20	6.20	22.90
周南	周南市	箇所数	(8)	(8)	(8)	(24)
		事業量	24.42	19.86	22.95	67.23
	下松市	箇所数	(1)	(1)	(-)	(2)
		事業量	1.70	4.50	-	6.20
	光市	箇所数	(2)	(3)	(2)	(7)
		事業量	6.62	9.21	8.77	24.60
	田布施町	箇所数	(-)	(1)	(3)	(4)
		事業量	-	4.20	4.60	8.80
	小計	箇所数	(11)	(13)	(13)	(37)
		事業量	32.74	37.77	36.32	106.83

(単位：箇所、千円)

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	計	
山口 防府	山口市	箇所数	(5)	(2)	(5)	(12)
		事業量	13.03	10.62	10.98	34.63
	防府市	箇所数	(1)	(1)	(1)	(3)
		事業量	3.11	3.65	2.37	9.13
	小計	箇所数	(6)	(3)	(6)	(15)
		事業量	16.14	14.27	13.35	43.76
宇部 小野田	宇部市	箇所数	(5)	(6)	(3)	(14)
		事業量	7.30	7.80	6.60	21.70
	山陽 小野田市	箇所数	(2)	(2)	(2)	(6)
		事業量	3.40	1.80	3.60	8.80
	美祢市	箇所数	(12)	(14)	(15)	(41)
		事業量	20.60	19.60	16.40	56.60
	小計	箇所数	(19)	(22)	(20)	(61)
		事業量	31.30	29.20	26.60	87.10
下関	下関市	箇所数	(7)	(5)	(6)	(18)
		事業量	21.43	21.01	20.00	62.44
	小計	箇所数	(7)	(5)	(6)	(18)
		事業量	21.43	21.01	20.00	62.44
長門	長門市	箇所数	(6)	(4)	(6)	(16)
		事業量	15.55	18.33	24.31	58.19
	小計	箇所数	(6)	(4)	(6)	(16)
		事業量	15.55	18.33	24.31	58.19
萩	萩市	箇所数	(5)	(8)	(7)	(20)
		事業量	18.02	22.92	27.00	67.94
	阿武町	箇所数	(1)	(2)	(1)	(4)
		事業量	4.90	3.57	0.91	9.38
	小計	箇所数	(6)	(10)	(8)	(24)
		事業量	22.92	26.49	27.91	77.32
計	箇所数	(66)	(66)	(68)	(200)	
	事業量	164.18	169.57	166.69	500.44	

② 再生竹の除去

(単位：箇所、 m^2)

区 分			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	計
岩国	岩国市	箇所数	(2)	(9)	(16)	(27)
		事業量	2.77	14.40	32.09	49.26
	和木町	箇所数	(-)	(-)	(-)	(-)
		事業量	-	-	-	-
	小計	箇所数	(2)	(9)	(16)	(27)
		事業量	2.77	14.40	32.09	49.26
柳井	柳井市	箇所数	(1)	(2)	(5)	(8)
		事業量	2.75	5.00	11.20	18.95
	周防大島町	箇所数	(1)	(2)	(2)	(5)
		事業量	0.84	1.80	1.42	4.06
	上関町	箇所数	(-)	(-)	(-)	(-)
		事業量	-	-	-	-
	平生町	箇所数	(3)	(2)	(1)	(6)
		事業量	3.52	5.40	4.50	13.42
	小計	箇所数	(5)	(6)	(8)	(19)
		事業量	7.11	12.20	17.12	36.43
周南	周南市	箇所数	(10)	(13)	(18)	(41)
		事業量	18.45	33.70	46.29	98.44
	下松市	箇所数	(2)	(2)	(2)	(6)
		事業量	2.00	2.70	6.20	10.90
	光市	箇所数	(2)	(3)	(6)	(11)
		事業量	4.89	7.62	17.90	30.41
	田布施町	箇所数	(4)	(3)	(1)	(8)
		事業量	4.01	2.51	4.20	10.72
	小計	箇所数	(18)	(21)	(27)	(66)
		事業量	29.35	46.53	74.59	150.47

(単位：箇所、千円)

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	計	
山口 防府	山口市	箇所数	(8)	(10)	(10)	(28)
		事業量	11.71	18.04	28.64	58.39
	防府市	箇所数	(4)	(3)	(2)	(9)
		事業量	6.85	8.66	6.76	22.27
	小計	箇所数	(12)	(13)	(12)	(37)
		事業量	18.56	26.70	35.40	80.66
宇部 小野田	宇部市	箇所数	(4)	(8)	(12)	(24)
		事業量	4.60	10.90	15.70	31.20
	山陽 小野田市	箇所数	(3)	(4)	(4)	(11)
		事業量	4.74	5.69	5.20	15.63
	美祢市	箇所数	(8)	(17)	(28)	(53)
		事業量	14.83	27.00	42.82	84.65
	小計	箇所数	(15)	(29)	(44)	(88)
		事業量	24.17	43.59	63.72	131.48
下関	下関市	箇所数	(8)	(11)	(14)	(33)
		事業量	21.44	32.65	45.23	99.32
	小計	箇所数	(8)	(11)	(14)	(33)
		事業量	21.44	32.65	45.23	99.32
長門	長門市	箇所数	(8)	(10)	(12)	(30)
		事業量	13.90	20.86	34.24	69.00
	小計	箇所数	(8)	(10)	(12)	(30)
		事業量	13.90	20.86	34.24	69.00
萩	萩市	箇所数	(9)	(11)	(16)	(36)
		事業量	17.71	27.12	42.33	87.16
	阿武町	箇所数	(3)	(3)	(3)	(9)
		事業量	5.81	9.21	8.47	23.49
	小計	箇所数	(12)	(14)	(19)	(45)
事業量	23.52	36.33	50.08	109.93		
計	箇所数	(80)	(113)	(152)	(345)	
	事業量	140.82	233.26	353.19	727.27	

(3) 魚つき保安林等海岸林整備事業実績

圏域	市町名	所在地	面積 (ha)	整備 年度	整備内容
下関	下関市	豊北町阿川	1.00	H22	抵抗性きららマツ植栽 作業歩道設置：83m
周南	下松市	笠戸島小城岬	1.00	H23	抵抗性きららマツ植栽 作業歩道整備：77m
下関	下関市	白崎	1.00	H24	抵抗性きららマツ植栽 作業歩道整備：397m
計	2市		3.00		

(4) 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

① 森林づくりフェスタの開催状況

開催年度	開催場所	来場者数
平成17年度	下関市深坂自然の森	2,500人
平成18年度	周南市和田小・中学校グラウンド	3,000人
平成19年度	宇部市常盤公園湖水ホール	4,000人
平成20年度	岩国市錦帯橋そば 吉香公園鶉飼い広場	12,000人
平成21年度	萩市中央公園	9,000人
平成22年度	山口市阿知須 山口きらら博記念公園	22,000人
平成23年度	山口市阿知須 山口きらら博記念公園	台風のため中止
平成24年度	山口市阿知須 山口きらら博記念公園	34,000人

※平成24年度は「第63回全国植樹祭」の関連イベントとして、「きららの森フェスタ」を開催しました。

(5) モデル林の設置状況

① 公益森林整備事業のモデル林

i) 平成 17 年度設置箇所

番号	場 所	面積 (㌔)	摘 要
1	岩国市錦町広瀬字中ノ迫	1.63	ヒノキ
2	柳井市日積字北戸石	0.25	ヒノキ
3	周南市大字須々万本郷字鹿堀	0.76	ヒノキ
4	山口市上宇野令字一ノ谷	2.45	スギ・ヒノキ
5	山陽小野田市大字山川字立原	0.51	ヒノキ
6	下関市大字植田字丑ヶ浴	0.20	スギ・ヒノキ
7	長門市油谷伊上字下畑東	3.00	スギ・ヒノキ
8	萩市大字紫福字西ヶ佐古	0.80	スギ・ヒノキ

ii) 平成 18 年度設置箇所

番号	場 所	面積 (㌔)	摘 要
1	岩国市錦町大野字大浴	4.14	スギ・ヒノキ
2	柳井市日積字上的場	0.55	ヒノキ
3	周南市大字高瀬字清水ヶ浴	0.37	スギ・ヒノキ
4	山口市小郡上郷字木船下	5.20	スギ・ヒノキ
5	美祢市伊佐町堀越字笹尾	1.34	ヒノキ
6	下関市豊田町大字殿敷字羽山ヶ浴	1.46	スギ・ヒノキ
7	長門市深川湯本字井出ヶ迫	3.31	スギ・ヒノキ
8	萩市川上字平内	0.77	スギ・ヒノキ

② 竹繁茂防止緊急対策事業のモデル林

i) 平成 17 年度設置箇所

番号	場 所	面積 (㌔)	摘 要
1	岩国市大字行波字野地	0.83	モウソウチク
2	柳井市日積字小田	0.74	モウソウチク
3	周南市大字湯野字郷谷	5.58	モウソウチク
4	山口市宮野下字門前	0.91	モウソウチク
5	宇部市大字小野字柿名ヶ迫	2.96	モウソウチク
6	下関市大字植田字丑ヶ浴	2.18	モウソウチク
7	長門市油谷久富字水神	0.62	マダケ
8	山口市阿東嘉年上字水出	1.34	マダケ

ii) 平成 18 年度設置箇所

番号	場 所	面積 (㌔)	摘 要
1	岩国市玖珂町字前植山	0.42	モウソウチク
2	田布施町大字大波野字道河内	0.87	モウソウチク
3	下松市大字来卷字大蔵	0.51	モウソウチク
4	山口市阿知須字後河内	0.64	モウソウチク
5	美祢市美東町赤字中原	0.86	モウソウチク
6	下関市豊北町滝部字青木ヶ原	0.67	マダケ
7	長門市日置上字河原田	3.71	モウソウチク
8	萩市大字明木字上ノ芝	2.05	モウソウチク

3 事業の効果

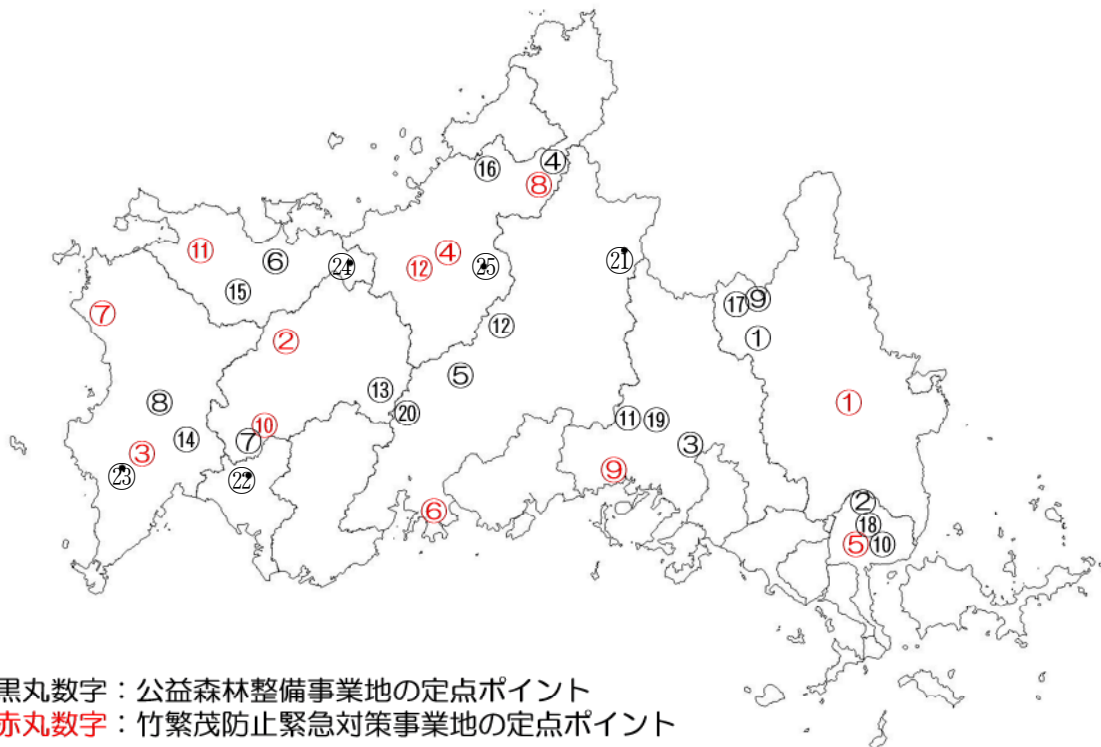
(1) 森林の持つ多面的な機能の回復

① 定点観測の調査内容等

事業名	調査項目	調査内容
公益森林整備事業	針広混交林への誘導効果	①地況調査（調査区の地形・地質等） ②上層木調査（強度間伐実施後の上層木成長経過） ③混広林化調査（広葉樹の侵入状況と成長経過） ④光環境調査（林内相対照度の変化）
	水土保持機能の回復効果	①土壌被覆率調査（下層植生等による土壌被覆率の経年変化）
竹繁茂防止緊急対策事業	竹皆伐による森林再生効果	①地況調査（調査区の地形・地質等） ②森林再生調査（広葉樹の侵入状況と成長経過）
	水土保持機能の回復効果	①土壌被覆率調査（下層植生等による土壌被覆率の経年変化）

(注) 調査は県農林総合技術センター林業技術部及び農林事務所森林部が実施。

② 調査位置図



③ 調査箇所

i) 公益森林整備事業

番号	局 所	所在地	樹 種	面積 (ヘクタール)	事業 年度	調査 開始 年度
①	山腹凹斜面	岩国市錦町大字広瀬	スギ・ヒノキ	5.21	17	18
②	山脚堆積面	柳井市大字伊陸	スギ	0.55	17	18
③	山腹平衡斜面	周南市大字須々万	ヒノキ	2.30	17	18
④	山脚堆積面	萩市大字片俣	スギ・ヒノキ	2.33	17	18
⑤	山腹平衡斜面	山口市上宇野令	ヒノキ	2.01	17	18
⑥	山腹平衡斜面	長門市深川湯本	スギ・ヒノキ	6.39	17	18
⑦	山腹凸斜面	美祢市西厚保町	ヒノキ	2.30	17	18
⑧	山腹平衡斜面	下関市菊川町大字上岡枝	スギ・ヒノキ	3.31	17	18
⑨	山腹平衡斜面	岩国市錦町大字大野字猪ノ木谷	ヒノキ	0.42	19	19
⑩	山腹凸斜面	柳井市大字日積ムネヶ浴	ヒノキ	0.25	19	19
⑪	山腹平衡斜面	周南市大字夏切字才兼	ヒノキ	0.21	19	19
⑫	山腹平衡斜面	山口市阿東篠目	ヒノキ	1.25	19	19
⑬	山腹平衡斜面	美祢市美東綾木	ヒノキ	0.30	19	19
⑭	山腹凸斜面	下関市菊川町大字下保木河内雨久保	ヒノキ	0.24	19	19
⑮	山腹平衡斜面	長門市俵山字西山	ヒノキ	0.25	19	19
⑯	山腹平衡斜面	萩市大字紫福字猪鹿谷	ヒノキ	1.00	19	19
⑰	山腹凸斜面	岩国市錦町大字栗ヶ浴	スギ・ヒノキ	3.52	17	20
⑱	山腹平衡斜面	柳井市伊陸字大峰	スギ・ヒノキ	2.46	18	20
⑲	山腹平衡斜面	周南市大字大道理字畑	ヒノキ	1.38	17	20
⑳	山腹平衡斜面	山口市小郡上郷字木船下	スギ・ヒノキ	5.20	17	20
㉑	山腹凸斜面	山口市徳地柚木字四ノ谷	ヒノキ	0.46	17	20
㉒	山腹凹斜面	山陽小野田市大字山川字立原	ヒノキ	0.51	17	20
㉓	山腹平衡斜面	下関市大字内日上字石原	ヒノキ	0.15	17	20
㉔	山腹平衡斜面	長門市三隅上字日尾	スギ	1.59	17	20
㉕	山腹平衡斜面	萩市川上字平内	ヒノキ	0.77	18	20

ii) 竹繁茂防止緊急対策事業

番号	流域	所在地	種類	面積 (ha)	事業 年度	調査 開始 年度
①	岩徳	岩国市大字行波	モウソウチク	0.83	17	18
②	山口	美祢市於福下	モウソウチク	0.78	17	18
③	豊田	下関市大字植田	モウソウチク	2.18	17	18
④	萩	萩市川上	モウソウチク	1.37	17	18
⑤	岩徳	柳井市柳井字河瀬	モウソウチク	0.72	19	19
⑥	山口	山口市秋穂東南道祖	モウソウチク	0.97	19	19
⑦	豊田	下関市豊北町大字神田 上字作尻	モウソウチク	0.69	19	19
⑧	萩	萩市高佐字河内下	モウソウチク	2.69	19	19
⑨	岩徳	周南市大字福川字岡山	モウソウチク	0.79	17	20
⑩	山口	美祢市東厚保町山中字 浴口	モウソウチク	0.80	18	20
⑪	豊田	長門市油谷新別名字柿 の木	マダケ	0.62	17	20
⑫	萩	萩市大字明木字野地	モウソウチク	2.05	18	20

(2) 県政世論調査の結果

① やまぐち森林づくり県民税の認知状況

(単位；%)

区 分		知っている	知らない	無回答	摘要
総 数		24.8	68.2	7.0	
広域生活圏別	岩国地域	17.4	76.8	5.8	
	柳井地域	18.2	75.8	6.1	
	周南地域	21.8	68.5	9.7	
	山口・防府地域	31.8	62.9	5.3	
	宇部・小野田地域	26.8	67.6	5.5	
	下関地域	22.2	70.1	7.8	
	長門地域	27.1	67.3	5.6	
	萩地域	29.1	63.8	7.1	
性別	男性	29.9	63.9	6.1	
	女性	20.7	71.7	7.6	
年代別	20代	10.3	86.0	3.7	
	30代	14.9	79.0	6.0	
	40代	19.3	74.9	5.8	
	50代	24.0	70.5	5.5	
	60代	32.1	57.8	10.0	
	70歳以上	37.0	55.1	7.9	
職業別	農林漁業(家族従事者)	38.9	55.0	6.1	
	商工サービス・自由業	35.3	60.4	4.2	
	管理職	33.2	62.5	4.3	
	事務職・専門技術職	22.6	71.6	5.8	
	技能職・労務職	16.5	75.9	7.6	
	主婦・主夫	24.1	69.0	6.9	
	学生	20.9	74.4	4.7	
	無職	27.5	64.0	8.5	

② やまぐち森林づくり県民税で行っている事業の内容について

(単位；%)

区分	知っている	知らない	無回答	摘要
総数	63.0	35.9	1.1	

(注) やまぐち森林づくり県民税を「知っている」と回答された方への質問。

③ 森林の持っている働きについて

(単位；%)

区分	知っている	知らない	無回答	摘要
総数	91.3	5.2	3.5	

4 独自課税を活用した主な事業の内容（都道府県別）

県名	税の名称 (通称)	主な事業内容	導入 年度
高知県	森林環境税	間伐の促進による荒廃の予防と公益的機能を発揮できる森林の整備、環境教育など次代を担う人材の育成、森林保全ボランティア団体の設立や活動支援など	H15
岡山県	おかやま森 づくり県 民税	未整備森林の間伐や松くい虫被害木の除去等による荒廃した森林の再生・整備、新規就業者の研修支援、県産材等森林資源の利用促進、企業との協働による森林保全活動など	H16
鳥取県	森林環境保 全税	強度間伐の実施による針広混交林化への誘導、保安林の間伐実施のための作業道の整備、景観向上のための枯損木の伐採等の支援、間伐等の作業体験等への支援など	H17
島根県	島根県水と 緑の森づく り税	長期間間伐などの保育作業が行われていない人工林に対して、不要木の伐採や広葉樹の植栽、県民自らが企画・立案した森林づくり活動や県産木材を使う取組の支援、森林環境学習の推進など	H17
山口県	やまぐち森 林づくり 県民税	森林の持つ多面的な機能の回復が必要な荒廃した人工林を対象に、強度間伐の実施による針広混交林へ誘導、繁茂拡大した竹の伐採等による荒廃森林の再生など	H17
愛媛県	森林環境税	施業地の団地化支援、林内に放置されたままになっている低質間伐材の搬出促進、地域で流通する木材を利用した公共施設の木造化や内装の木質化の支援、県民が自発的に取組む森林の利活用等への支援など	H17
熊本県	水とみどりの 森づくり 税	間伐未実施で放置された人工林での針広混交林化に向けた強度間伐の実施、森林環境教育などを行う団体等への支援、有害鳥獣捕獲等を行う市町村に対する補助など	H17
鹿児島県	森林環境税	公益上重要な森林における間伐の実施や路網の整備、県産材を用いた木造施設整備への支援、森林ボランティア団体等への活動の支援、森林・林業に関する学習・体験活動の支援など	H17
岩手県	いわての森 林づくり 県民税	公益上重要で緊急に整備する必要がある森林において、強度間伐による針広混交林への誘導、地域住民等が取り組む森林を守り育てる活動への支援、被災地住民と被害木等を活用する取組など	H18
福島県	森林環境税	公益的機能の低下が懸念される森林について間伐の実施や搬出・路網整備への支援、市町村が行う森林づくり施策への支援、森林ボランティアの活動支援やボランティアリーダーの育成など	H18
静岡県	もり づくり 県民税	公益性が高いが森林所有者による整備が困難なために荒廃している森林の整備（人工林の強度間伐、倒木の処理、竹林の広葉樹林化等）、税と事業の理解促進のための普及啓発など	H18
滋賀県	琵琶湖森 林 づくり 県民 税	放置された人工林での強度間伐の実施による針広混交林への誘導、森林管理を進めるための境界明確化、県産材を利用した住宅建設に対する支援、地域が協働して取り組む里山の整備など	H18

県名	税の名称 (通称)	主な事業内容	導入 年度
兵庫県	県民緑税	流木災害の軽減対策（災害緩衝林整備等）や斜面の防災機能の強化（間伐木土留工）、集落裏山森林の防災機能の強化（簡易防災施設等）、人と野生動物の棲み分けを図るバッファゾーン整備など	H18
奈良県	森林環境税	施業放置林において森林所有者と県及び市町村による協定に基づく強度間伐の実施、NPO等の参加による荒廃した里山の整備、森林環境教育の指導者育成や体験学習の実施など	H18
大分県	森林環境税	緊急に整備する必要がある公益上重要な森林を対象に強度間伐や広葉樹の植栽の実施、侵入防護柵の設置や捕獲の推進等によるシカ被害対策、NPO等が行う県民提案事業に対する支援など	H18
宮崎県	森林環境税	公益上重要な森林を対象とした強度間伐による針広混交林化への誘導、溪流周辺にある堆積した流木等の除去、ボランティア団体・企業等の森林づくり活動、市町村による公有林化への支援など	H18
山形県	やまがた緑環境税	公益上重要な荒廃した人工林を対象とした強度間伐の実施や針広混交林への誘導、荒廃した里山林を再生するための被害木の伐採、地域ボランティア等が実施する森づくり活動への支援など	H19
神奈川県	水源環境保全・再生のための個人県民税	水源地域の保全上重要な森林の買入れや整備協定など私有林の公的管理・支援、間伐材の集材・搬出・運搬に対する助成、水源保全上重要な丹沢大山における植生の衰退防止対策など	H19
富山県	水と緑の森づくり税	風雪被害林や過密人工林での整理伐の実施による針広混交林への誘導、地域住民との協働による里山林整備、森林ボランティアの活動支援、県産材を活用した木造公共施設等への支援など	H19
石川県	いしかわ森林環境税	水源地域等の手入れが不足した人工林を対象とした強度間伐の実施による針広混交林への誘導、NPO等が実施する小中学生を対象とした森林環境教育や森林体験活動への支援など	H19
和歌山県	紀の国森づくり税	水源林等奥地などにおいて広葉樹等の導入の促進、NPOや市町村等地域からの自発的な取組への支援、貴重な自然生態系を持つ森林等の公有林化、放置竹林の整備など	H19
広島県	ひろしまの森づくり県民税	手入れ不足の人工林や放置された里山林の再生、地域住民等多様な主体による保全活動への支援、森林整備と資源活用のサイクル形成による森林の適正管理・整備拡大の促進など	H19
長崎県	ながさき森林環境税	荒廃した人工林の切捨間伐や作業道の開設に係る経費を支援、地域の独自性と創意工夫による多様な取組みを支援、地域の森林づくりや県産材の利用等の促進など	H19
秋田県	秋田県水と緑の森づくり税	生育の思わしくないスギ人工林の針広混交林への誘導、環境教育等の場として利用するための里山林の整備、松くい虫被害を受けた松林の整備、県民提案による森づくり活動の支援など	H20

県名	税の名称 (通称)	主な事業内容	導入 年度
茨城県	森林湖沼環境税	緊急に整備が必要な森林における間伐等の実施、公共施設等の木造化・木質化など地域で流通する木材の利活用の推進、森林づくりや森林環境学習等の活動を行う団体に対する支援など	H20
栃木県	とちぎの元 気な森づく り県民税	公益的機能を発揮する上で特に重要な保安林等内の人工林の強度間伐の実施、間伐材を利用した学習机や椅子の小中学校への配布、身近な森林整備や森を育む人づくりの取組の支援など	H20
長野県	長野県森林 づくり県民 税	集落周辺の里山林における間伐の実施、市町村が展開する森林づくり施策への支援、地域で流通する木材の利活用を通じた森林づくり等への取組の推進、施業プランナー等の人材育成に対する支援など	H20
福岡県	森林環境税	長期間放置され荒廃した人工林の間伐、伐採後植林しないまま放置されている林地への広葉樹の植栽、ボランティア団体・NPO等による森林づくり活動への支援など	H20
佐賀県	佐賀県森林 環境税	荒廃した人工林の強度間伐による針広混交林への誘導、市町による荒廃した森林等の公有林化や公的管理の支援、県民等による荒廃した森林を再生する取組の支援など	H20
愛知県	あいち森と 緑づくり税	整備が困難な奥地等の森林の間伐や放置された里山林の再生、都市における身近な樹林地の保全や緑地の創出、市町村やNPOが行う環境保全活動や環境学習に関する取組の支援など	H21
宮城県	みやぎ環境 税	一定以上の県産材を利用した戸建て新築住宅に対する支援、若齢林の間伐の促進及び一体的に実施する作業道整備に対する補助、林地残材等の木質バイオマス資源の搬入や加工に係る支援など	H23
山梨県	森林及び環 境保全に係 る県民税	荒廃した人工林の強度間伐による針広混交林への誘導や里山林の整備、学校施設等への県産材使用、県民参加の森づくり活動への支援など	H24
岐阜県	清流の国ぎ ふ森林・環境 税	環境保全を目的とした人工林の整備、里山林の整備・利用の促進、生物多様性・水環境の保全、公共施設等における県産材の利用促進、地域が主体となった環境保全活動への支援など	H24

(注) 森林・林業白書（平成25年版）より引用。

レポートに関するお知らせ

- 1 このレポートについては、県民の皆様に幅広く周知し、今後の取り組みについてのご意見やご提言を反映することとしています。
- 2 このレポートについては、県民局、県農林事務所及び各市町において閲覧することができます。また、県ホームページにも掲載していますのでご覧ください。
ホームページ ; <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a17700/index/>
- 3 このレポートについては、県・市町の施設やイベント等でのパネル展示などにより、県民の皆様に幅広く周知することとしています。

◆お問い合わせ先◆

山口県農林水産部森林企画課林業企画班
(電話番号) 083-933-3464 (FAX 番号) 083-933-3479
(電子メール) a17700@pref.yamaguchi.lg.jp